



NISHI-AIZU GUIDE BOOK

にしあいづガイドブック



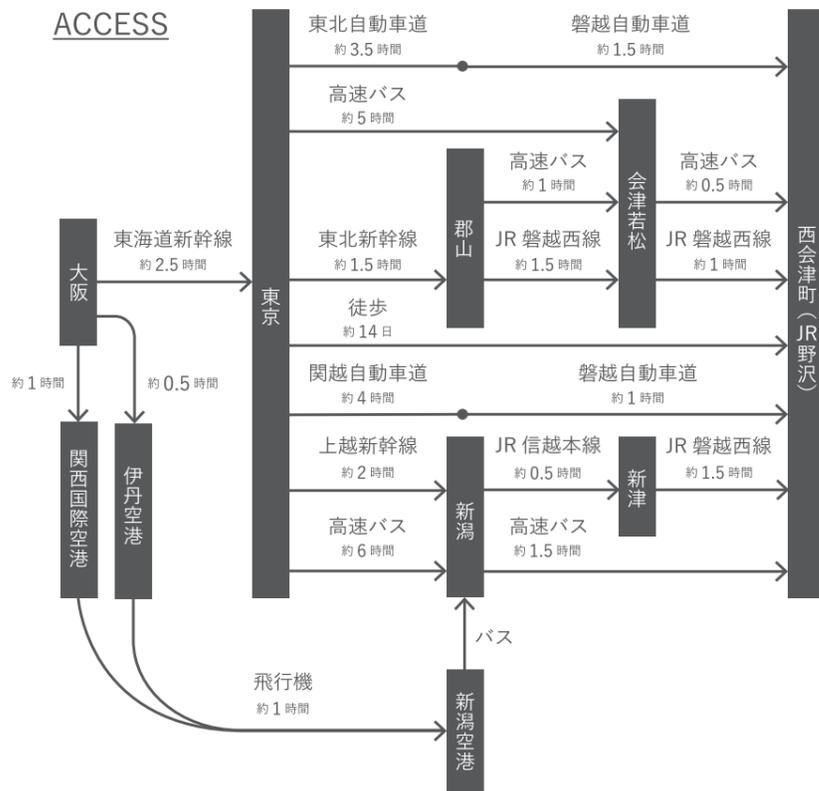
inaka.nishi-aizu.jp

日本の田舎に行こう。

田舎派か。都会派か。
私は田舎派。
だって田舎は落ち着き、都会は疲れるから。
僕は都会派。
だって田舎は退屈、都会は楽しいから。
でも、それって本当？
田舎にだって都会にない楽しさがある。
都会にだって田舎にない落ち着く場所がある。
対立すると、お互いの良いところが見えなくなる。
田舎は都会に憧れ、都会も田舎に憧れる。
そんな関係がいい。そんな関係が日本らしい。
田舎を認めて都会を愛す。都会を認めて田舎を愛す。
お互いのまだ知らない日本に触れ合って、感嘆しよう。
そんな関係が日本らしい。
日本の田舎と都会は、仲間です。



ACCESS



ようこそ、おかえり。 日本の田舎へ。

ここには、日本の原風景がある。

昔ながらの木造の民家。
風にさらさらと揺れる黄金の稲穂。
自然への感謝、祈り。
厳しくも美しい自然とともに生きる人の営み。

新潟と福島の間にある、西会津町。
土地の8割以上が森林のこのまちは、
たどれば縄文時代から栄えたふるい歴史がある。

そうやって先人たちが積み上げてきた地層の上に、
いま、新しい暮らしや文化の芽が育とうとしている。

人によれば、ここには、何も無い。
視点を変えれば、ここには、何でも有る。

あなたにとっては、どうでしょうか。

このガイドブックを片手に、
“故くてあたらしい日本の田舎”を
あなたの目で、耳で、舌で、手で、体験してみてください。

西会津町は『日本の田舎』の継承者として、古き日本の姿を守り、縄文文化、農村文化を伝える町。』として広く知っていただくため、様々な暮らしのシーンをPRする220本の動画集や、移住に関わる情報などをまとめたポータルサイト「日本の田舎、西会津町。」を運営しています。ロゴマークは、西会津の山や雲海の風景を表現したもの。昼夜の寒暖差が激しいこのまちは、その幻想的な風景を日常的に見ることができます。



〈目次 & キーワード〉 NISHIAIZU CONTENTS

1. 霊地 P3
修験者がひらいた山
2. 登山・景勝地 P7
眺めても、登っても美しい
3. アート & クラフト P9
故くて新しいモノコト
4. 歴史探訪 P11
縄文時代から栄えたまち
5. 観光拠点 P13
温泉も食も、大地からの贈りもの
6. グルメ P15
一度は食べたい・何度も食べたい！
7. 西会津米 P17
あま美味い 日本トップクラス米
8. 地酒 P20
二百年続く酒蔵
9. ミネラル野菜 P21
自慢の土がつくるうまい野菜
10. 特産品 P23
西会津の恵みをおうちでも
11. 年間イベント P25
一年ずっとお祭り尽くし
12. 宿泊 P27
西会津の風土に泊まる
13. 観光マップ P29



日本の田舎
西会津町
Traditional Countryside in Japan
NISHI-AIZU

の、霊地をたどる。

西会津町は、古くから「会津西方の霊場」として知られる信仰の里。北方には霊峰飯豊山をのぞみ、その自然の美しさと厳しさを背景に、山岳信仰や仏都会津の西方浄土を象徴する場所としても信仰をあつめています。



年間行事
 大山まつり（春の太祭）
 開催期間：毎年6月1日から6月30日
 秋の大祭
 開催期間：旧暦9月9日・19日・29日
 旧暦元旦祭（二年参り）
 開催期間：旧暦の大晦日～元旦

MAP 4 おおやまづみじんじや
大山祇神社

3年続けてお参りすれば、一生に一度のなじよな願いも聞きなされる山の神様（なじよは会津弁でどんなという意味）。山岳丘陵の守護神である大山祇命、長寿の守護神である岩長比売命、良縁・安産の守護神である木花咲耶姫命をまつり、特に農業・漁業関係の参拝者が多く訪れています。

〒969-4406 西会津町野沢字大久保甲 1445-2
 TEL:0241-45-2323
 開所時間：8:00～16:00



大山祇神社宮司
 伊藤 伸さん

「ぜひ遥拝殿だけでなく御本社にもいらしてください。穢れ（けがれ）は「気枯れ」とも表現され、生命力の衰退を意味し、神様も人間と一緒に、元気がなくなってくるんです。それを奮い起こすのが「おまつり」の大切な意義のひとつ。神様にお供えをしたり、神楽を奉納したり。そうやって神様に元気になってもらったパワーを、人間に分けていただくんですね。ですから、おまつりの時期に遥拝殿や御本社にお参りなさってみてください。特に山の中の参道を歩いてみると、生命力をより一層感じていただけるはずですよ。」

3年続けてお参りすれば、 なじよな（どんな）願いも聞きなされる

大山祇神社

おおやまづみじんじや

山の神様の懐で生命の息吹を感じる

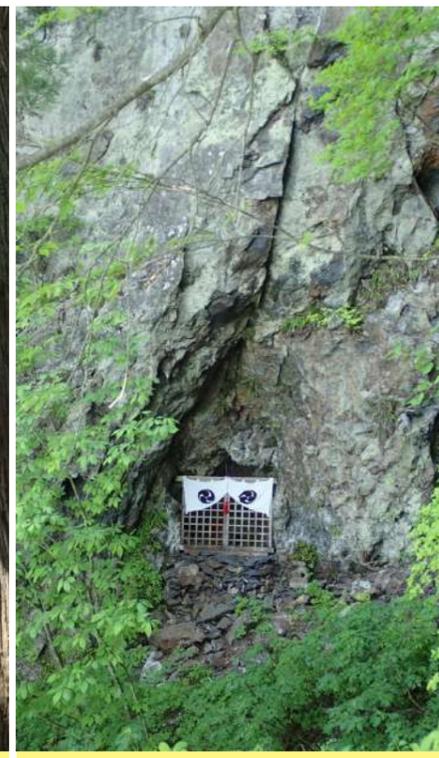
西会津のまちなかから車で約10分走っていると、民家が立ち並ぶ風景から、草木が生い茂る山の世界へ。大山祇神社の遥拝殿に足を踏み入れると、背筋がすっと伸びるような凜とした空気に包まれます。遥拝殿は参拝客が訪れやすいように建てられたもので、御本社は約4km続く参道を歩いた先にあります。参道は、一般的な神社のように石畳の道ではなく、山道。「ふくしま遊歩道50選」に選ばれた自然豊かな参道で、トレッキングコースとしても人気があります。木の葉がきらきらと揺れ、あたりはしんと静か。耳をすませば鳥や虫の音が聴こえる。大いなる山の神様の懐に抱かれて、心がすっと浄化されていくのを感じます。御本社がある宇陀帰山（うだかえりやま・うだきやま）一帯は修験者の修行の場。道中には「不動滝」「弥作滝」があり、大山祇神社を勧請した真海法師はこの不動滝で17日間の水行をなし、大聖不動明王のお告げを聞いたと伝えられています。参道終盤、山の奥地にひろがるのは「木の根坂」。樹齢400年を超える杉の木が立ち並び、その間を歩いて御本社へむかいます。御本社に着いたら、目を閉じてゆっくり深呼吸してみてください。神聖で壮大な山のパワーを感じられるはずですよ。



6月 大山トレッキング

「大山まつり」が開かれる時期に開催されるウォークイベント。この時期は特にブナ林の新緑が美しく、瑞々しい彩りが視界いっぱいひろがります。山の中はひんやりと涼しく、清々しい空気に心も浄化されていきそう。西会津名物の手打ち蕎麦の昼食付きで、お腹も満たされます。

参加費：1人2,000円
 御本社までの所要時間：片道1時間30分前後



10月 秋の例祭 紅葉ウォーキング

山々が赤く染まりはじめた頃に開催するイベント。御本社までのウォーキングのほか、御本社から、さらに険しい参道の先にある「奥ノ院」への限定参拝も行います。奥ノ院はガイド付きのみ参拝可能なエリアなので、ぜひこの機会に修験の道をたどってみたいはいかがでしょうか。

参加費：大人（中学生以上）1,200円
 小人（小学生以下）600円
 奥ノ院参拝の参加費：1,000円
 手打ちそば、餅、豚汁の昼食つき
 希望者のみ御本社での特別ご祈禱：初穂料1,000円
 御本社までの所要時間：片道1時間30分前後
 奥ノ院までの所要時間：片道1時間～

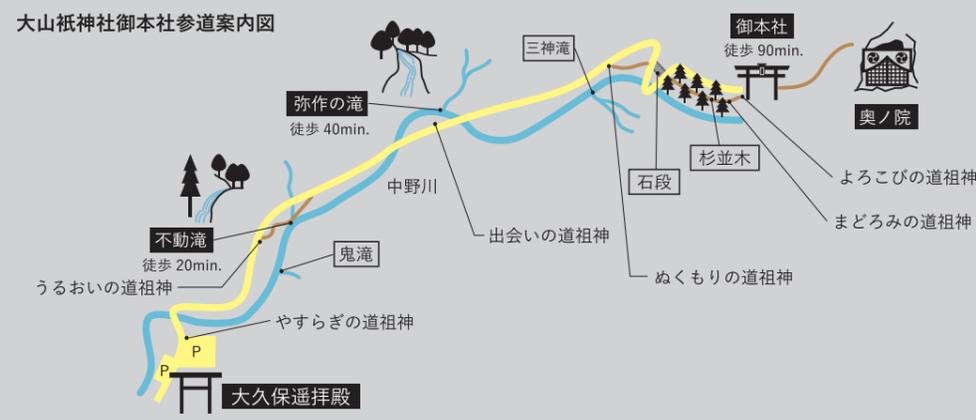


春 / 秋 会津大山修験の道

かつて、修験者が修行のために歩いたとされる道のりを歩くツアーです。現在、御本社まで続く参道は新しく整備された道。このイベントでは、初心者には獣道にしか見えないような修験の道（旧参道）をたどり、ちいさな修行の旅に出ます。修験者の衣装貸し出しもあり、本格的な体験ができます。

要事前申し込み（申込は電話・メールもしくは、にしあいづ観光交流協会の窓口にて）
 参加費：2,000円（衣装レンタル料込み）

※大山祇神社御本社から奥ノ院までのガイドについて、日程の調整を要しますのでにしあいづ観光交流協会へお問い合わせ下さい。



各プログラムの問い合わせ先
 にしあいづ観光交流協会
 TEL:0241-48-1666
 MAIL:nishiaizu.kanko@gmail.com

大山祇神社 × 自然 × トレッキング



を、めぐり歩くおすすめコース

西会津に来たなら、一度は行っておきたいスポットを1日でめぐれるコースをご紹介します。霊地観光やグルメ、お買いもの、スパまで。1日で西会津の多彩な見どころを満喫できます。



会津ころり三観音・日本遺産

「ぴんぴんころり」の鳥追観音

平安時代初期。福島県会津地方は、東北地方の中で最も早く仏教文化が開いた地域として知られ、「仏都会津」とも呼ばれています。その開祖・徳一菩薩が、「会津西方浄土」として開創したのが「鳥追観音如法寺」です。西会津町は、その名前のおり会津の西方に位置するまち。会津の西方浄土 - 阿弥陀仏が住む極楽浄土に導いてくれる霊場として、1200年以上にわたり人々の信仰をあつめてきました。「鳥追観音如法寺」は、「会津ころり三観音」の一つとしても多くの参拝客が訪れています。自らの寿命を全うするまで、ぴんぴんと健康でありたい。あの世へ旅立つ時には、家族やのこされる人に迷惑をかけることなく、ころりと逝きたい。観音様をお願いすれば、そんな「ぴんぴんころり」を叶えてくれるのも「鳥追観音如法寺」のご利益です。肝心なのは、そのお参りの仕方。一般的には、参道を歩いてお堂で祈願し、歩いてきた参道に戻るかたちでお参りをしますが、「鳥追観音如法寺」は一方通行でお参りをします。東口から参道に入り、観音様に祈願した後は、西口から出る。東→西へたどる動線は、その先に「西方浄土」の世界がひらけていることを意味しています。こうした「東西向拝口・三方開き」という特殊な構造をもつお堂も、見どころの一つです。



鳥追観音如法寺
副住職
三留光善さん

どうやってお参りすればいいんだっけ…と迷ったら、気軽に住職さんにたずねてみて。特に副住職の三留光善(みとめ こうぜん)さんは、とてもお話しがうまい。ここに書いているようなお寺の歴史やご利益について、おもしろく・分かりやすくお話ししてくれます。まるで落語を聴いているようだと、お寺の名物にもなっています。お参りした後は、日光東照宮の「三猿」を手がけた名工・左甚五郎(ひだり じんごろう)によって彫られたと伝えられている「隠れ三猿」を探してみよう。この三猿を見つけると運がひらき「福マサル」といわれています。

MAP 5-B とりおいかんのんによほうじ 鳥追観音如法寺

仏都会津の祖・徳一菩薩が807年に会津の西方浄土として開創した霊場。縁結び・子授け・安産・子育て・厄除け・長寿とさまざまなご利益があり、老若男女とわず参拝に訪れています。木造聖観音立像など4体の仏像・観音堂・仁王門が県指定重要文化財。

〒969-4406 西会津町野沢字如法寺乙 3533
TEL:0241-45-2061
開扉時間 8:30~16:00



年間行事
鳥追観音若葉祭(春例大祭)
開催期間:毎年5月1日から6月30日
鳥追観音紅葉祭(秋例大祭)
開催期間:毎年10月1日から11月30日

9:00

大山祇神社の御本社までトレッキング

御本社まで続く参道を歩いて気分リフレッシュ。季節ごとに移ろう山々の表情を眺めながら、山岳信仰の舞台を辿りましょう。※11月~4月頃は積雪・残雪のため注意
▶トレッキング情報はP4



12:30

観音茶屋で十割蕎麦を味わう

下山したら、ひと休み。「観音茶屋」で手打ちそばをいただきます。そば名人が打つ「十割蕎麦」は喉越しがよく、風味豊か。揚げたての天ぷらも絶品です。
▶店舗情報はP16



13:30

鳥追観音で静けさにひたる

観音茶屋のお隣にある「鳥追観音 如法寺」。お堂へお参りした後は、ぜひ境内の庭をゆったり散歩してみてください。木々の中を歩いていると、しんと静まりかえった空気が心をずっと穏やかにしてくれるのを感じます。
▶施設情報はP5



14:15

雷山公園で西会津の絶景を楽しむ

高台にあり、天気によければ飯豊山(いいでさん)や、西会津のまち並みを一望できます。特に秋は紅葉が美しく、東屋でのんびりピクニックするのもおすすめ。
▶施設情報はP8



15:30

やまみ靴製作所で手しごとにふれる

2024年にオープンしたばかりの新しいお店。西会津のジビエレザーをはじめ、地域素材を活かした靴や小物製品の企画・製造・販売を行っています。ものづくり体験もあり、旅の思い出になりますよ。
▶店舗情報はP10



16:00

道の駅にしあいづでお土産さがし

西会津の名物・特産品がずらりと揃う「道の駅にしあいづ」でお買いものタイム。新鮮な野菜から、ばらまき用のお菓子まで、おうちでも西会津の味を楽しめます。
▶施設情報はP13



17:00

ロータスインで旅の疲れを癒す

旅の締めくくりは温泉。「ロータスイン」の温泉は、ちょっとしょっぱい泉質。サウナも併設しており、「ここが一番ととのう!」とサウナ好きから人気があります。
▶施設情報はP13



ひと足のばして・・・

西会津国際芸術村

まちなかから、車で約15分。木造の廃校を活用したアート拠点で、芸術にふれるひとときを。無料のドリンクコーナーもあり、ほっとひと息つくのもおすすめ。
▶施設情報はP9





日本の田舎
西会津町
Traditional countryside in Japan.
NISHIAIZU.

の、絶景を歩く。

西会津町は、土地の約84%が森林。町内のどこにいても見渡す限り山がひろがり、季節ごとに多彩な表情を見せてくれます。だからこそ、西会津は日常が絶景。自然が描き出す色とりどりの風景をめぐってみませんか。



十三名山と八峠

1,600m級の高山から、400m級の低山まで。見どころに富む山々は、地元民からも休日の登山スポットとして親しまれています。西会津町では、山歩きの愛好家たちによる団体「西会津ぐるっと山ネットワーク」の主體的な活動により、西会津らしい風景が楽しめる十三の山と八つの峠が名所として選定されています。各スポットの詳細やトレッキングのモデルコースなどもwebサイトで掲載されており、西会津で山歩きを楽しむ際はぜひ参考にしてみてください。

十三名山と八峠について詳しい情報はこちら
西会津ぐるっと山ネットワーク nishiaizu-yamanetwork.com



MAP 1-D かがみやま 鏡山

山頂では飯豊連峰の大パノラマが視界にひろがる
標高：1,339m
登山適期：5月中旬～11月中旬
登山口：弥平四郎登山口・祓川登山口
所要時間：日帰り6時間

それぞれの山の山頂からの眺望



MAP 1-C こうようさん 高陽山

標高：1,126m
登山適期：5月中旬～11月中旬
登山口：中ノ沢登山口
所要時間：日帰り5時間
残雪期の頂上からは飯豊連峰南面の全容が眺望できる

MAP 1-B すがりだけ 須刈岳

標高：438m
登山適期：4月上旬～11月下旬
登山口：上野尻登山口
所要時間：日帰り2時間
作神様を祀る信仰の山。
山頂からは上野尻集落が一望できる

MAP 1-D ふじさん 富士山

標高：509m
登山適期：4月上旬～11月下旬
登山口：漆窪登山口
所要時間：日帰り2時間
富士権現を祀った祈りと展望の山。
日本で2番目に高い「富士山」でもある

MAP 5-C 雷山公園

西会津のまち並みを一望できる展望台。天気がよければ飯豊連峰をのぞむこともでき、その見晴らしのよさに気分もリフレッシュ。お弁当や本を持参して、東屋で紅葉を眺めながらのんびりピクニックもおすすめです。
見頃：10月下旬～11月中旬

MAP 1-B ちょうしのくち 銚子の口

越後三山只見国定公園内にあり、阿賀川の峡谷の中でも特に有名な景勝地。急流が岩を洗う様子が見られ、奇岩が兩岸よりせり出している景観が楽しめます。秋には紅葉が見事に染まり、目で耳で、その迫力を味わってみて。
見頃：10月下旬～11月中旬

MAP 3 かみのじり 上野尻の桜とSL

阿賀川沿いに咲く桜並木は、地元民にとっても憩いのスポット。タイミングがよければ、蒸気機関車「SLばんえつ物語」と満開の桜のツーショットをおさめることもでき、これを目当てに訪れる観光客も多数。
見頃：4月下旬

MAP 1-B あざ 安座のおとめゆり

おとめゆりは、西会津町を象徴する花。環境省のレッドリストで準絶滅危惧種（NT）に指定されている貴重な植物です。地元・安座集落の人々に長年愛され、大切に守られてきました。毎年見頃を迎える6月上旬～中旬にかけて、「おとめゆりまつり」が開催されています。
見頃：6月上旬～中旬



TOUR INFO ツアー情報

越後街道峠越え

西会津から新潟方面へ抜ける峠道を歩くツアー。道中には、イザベラバードが気に入って2泊もした茶屋があったという「車峠」や、かつて飯豊山の選拝所「一の鳥居」があったことが名前の由来といわれる「鳥井峠」をたどります。歩いて県境を越えるおもしろさがありますよ。

参加費：大人1,000円
歩行距離：約12km
所要時間：約6時間



束松峠トレッキング

西会津から会津若松方面へ抜ける峠道をたどります。道中にある束松峠の茶屋跡には2軒の茶屋があったそうで、峠を越える人たちの宿泊所になっていたそう。茶屋跡からは磐梯山をはじめ会津若松方面の景色が一望できます。

参加費：大人1,000円
歩行距離：約11km
所要時間：約6時間





日本の田舎
西会津町
Traditional countryside in Japan
NISHI-AIZU

の、アート & クラフト

日本の原風景と、自然とともに暮らす生き方が今なお息づいている西会津町。先人が大切に守ってきた風景や文化を継承しながら、現代の考え方や創造性を織りまぜて、このまちの価値を次代につないでいこうと暮らし活動している人が多くいます。その動きを町外から訪れた人にとっても感じられるのが、アート & クラフト。ここでご紹介するスポットや人に出会ってみれば、西会津の文化の深みを感じてもらえるはずです。



誰もがアーティストでいられる場所

にしあいづこくさいげいじゅつむら
MAP 1-C
西会津国際芸術村



廃校になった中学校の木造校舎を活用して、2004年に設立されたクリエイティブセンター。国内外から滞在制作に訪れるアーティストインレジデンスや、企画展示・イベント・ワークショップ、演劇やコンサートからサーカスまで、西会津らしさを追求した“故くて新しい”モノやコトがここから生まれています。

〒969-4622 西会津町新郷大字笹川字上ノ原道上 5752
TEL: 0241-47-3200
営業時間: 10:00~17:00
入館料: 大人 300円 小人(中学生以下) 100円 未就学児無料
町民無料、展示室以外の利用は無料
定休日: 月曜、火曜(祝祭日除く、臨時休館日あり)



「生まれつき誰もがアーティストである」という芸術村には、のびのびと、自然にじぶんらしく居られる雰囲気があります。企画展示をじっくり見てみたり、本棚にある本を手にとってみたり、ワークショップに参加してみたりと、ここでの過ごし方は人それぞれ。きっと、忘れていたナニカを思い出す体験があるはずです。

会津の基層文化にふれる

MAP 2
のう
農とくらし



会津地域で教員・作家・郷土史家として活躍した文化人、古川利意さんの作品を中心に、地域資料から現代アートまで幅広く鑑賞できる「会津のくらし」をテーマとしたちいさな美術館。奥川地区真ヶ沢集落でくらし、館長をつとめる小野木さんの敷地内にある築150年の蔵を改修し、地域住民やまちの地域おこし協力隊、県内外から訪れたアーティストやクリエイターなど多くの人たちの協力によって2022年夏にオープンしました。誰かにとっては懐かしく、誰かにとっては新しい。会津の原風景と、地域の人たちの手によって紡がれてきたくらしにふれて、感じて、思い出すひとときを過ごしてみてください。

〒969-4734 西会津町奥川大字飯里字里道 2246
TEL: 080-6019-0384 (代表 小野木麗子)
開館日: 土日祝日 入館料(協力金) 200円~
開館時間: 10:00~17:00 ※12月~4月下旬は休館



古川利意さんの常設展示をはじめ、会津に関わるアーティストの作品や民具、工芸品、地域資料の企画展示、会津の伝統的な風習を体験できるワークショップも。

会津のジビエレザーや 素材を生かした鞆づくり



MAP 5-C
かばんせいさくじょ
やまあみ鞆製作所

2020年に西会津町に移住した鞆職人の片岡美菜さんが営む鞆工房 & ショップ。かつて駄菓子屋さんを営んでいた民家を改修し、会津の文化や自然を活かしたものづくりを行っています。店舗で実際に商品にふれながら、片岡さんのものづくりに対する想いや制作背景を聞いてみると、生きもののいのちや自然、先人が積み上げてきた文化を尊ぶ気持ちがわいてくるはず。ものづくり体験も随時開催しており、西会津の旅の思い出にもおすすめです。

〒969-4406 西会津町野沢字本町甲 1229
営業日: 第1・3土曜日 第2・4月曜日
営業時間: 10:00-16:00 (日曜は12:00まで)
MAIL: bagmaker.mina@gmail.com



片岡さんが用いるのは、まちの鳥獣害対策で捕獲されたシカやイノシシの皮、まちの伝統産業である「出ヶ原和紙」、地域の人から譲ってもらった着物や木綿といった古布など。自然の暮らしの中で得た素材・文化など「直(じか)」にふれたものから、現代の暮らしに合うバッグや小物を製造するブランド「zica(じか)」を展開し、店舗やECサイトでも販売しています。



会津の暮らしにふれるものづくり体験

WORKSHOP 郷土の体験

そば打ち体験・みそづくり体験・かんじきづくり体験

食べるものも、着るものも、住む場所さえも、自分でつくる。西会津には、そんな暮らしのものづくり名人がたくさんいます。今のようにお金を出せば、いつでも・何でも・すぐにモノが手に入る時代ではなかった頃、特に厳しい冬を乗り越えるために保存食や発酵の文化が栄えたり、生きるために自ら工夫する術が身についたり、そんな地域的背景も影響しているのかもしれませんが。そんな西会津の暮らし術を体験するワークショップを随時開催しています。そば打ち名人による「十割蕎麦」の体験や、冬の外出には欠かせない「かんじきづくり」、発酵に欠かせない地域のおかあさんによる「みそづくり」、昔ながらの「笹団子づくり」など。体験を通して、自分の暮らしを自分でつくる面白さにふれてみませんか。

各プログラムの問い合わせ先
にしあいづ観光交流協会
TEL: 0241-48-1666 MAIL: nishiaizu.kanko@gmail.com





日本の田舎
西会津町
Traditional countryside in Japan
NISHI-AIZU

の、きおくを旅する。

縄文時代、阿賀川流域である西会津の地には、日本海側（北陸）と太平洋側（東北・関東）の文化を受けた縄文中期～後期の縄文文化が発達しました。西会津町では「会津タイプ」と呼ばれる独特の火炎系土器や王冠型土器が出土していますが、これらが発掘された遺跡は相当大規模なものであったと推測されます。

約 5000 年前

約 700 年前

縄文時代、
西会津は大都会だった!?



繁栄を象徴する縄文土器

縄文時代中期から後期にかけてのものと思われる火炎系土器が町内の上小島遺跡、芝草・小屋田遺跡から多数出土。高度で複雑な造りの土器は、当時の暮らしの繁栄を思わせます。福島県指定文化財。
写真：芝草・小屋田遺跡出土品 撮影：小川忠博



MAP 1-C 円満寺観音堂

室町期の建立とされる国指定重要文化財。入母屋茅葺の屋根と本格的な三方四面唐様建築のお堂で、昔から子守観音として親しまれています。
住所：〒969-4405 西会津町下谷字宮ノ後丙 241

約 500 年前

約 400 年前



MAP 1-B 岩屋虚空蔵尊

1511年の造立、西会津の奥地にある「出戸（いでと）」集落にあり、毎年9月には祭礼が開かれます。集落の人によって500年以上守り継がれている伝統文化です。



蒲生氏郷と西会津

若松城（鶴ヶ城）の改築や、城下町の整備など近代会津の礎を築いた蒲生氏郷。上野尻地区にある西光寺を訪れて休息をとった縁で深く帰依するようになり、本尊となる阿弥陀如来像を寄進しています。



MAP 1-C 野沢宿

西会津町は、越後へ続く会津の玄関口であり、多くの人や物が行き交う拠点として栄えてきました。特に「野沢宿」は、江戸時代に整備された越後街道の三大宿場町のひとつに数えられ、当時の会津藩の行政・経済の要衝であったことがうかがえます。写真は明治20年ごろの野沢宿の様子。

約 150 年前

幕末になると、東北の松村塾とまでいわれた学塾「研幾堂」の創始者である渡部思齋をはじめ、多くの偉人が誕生しています。



わたなべしさい 渡部思齋 会津藩校日新館の医学寮に学び、郷里の青少年の教育に力を尽くした「研幾堂」の創始者。
わたなべかなえ 渡部鼎 野口英世の手を手術し、英世が医師を志すきっかけを作った恩師。
のざわけいち 野澤籙一 山本覚馬の日本再建の建白書「管見」を口述筆記した法律家。
いしかわえいじく 石川暎作 アダム・スミス『富国論』の翻訳者。渡部鼎と共に婦人東髪運動の先駆者。
やまぐちちよこ 山口千代作 自由民権運動の指導者。自由党会津支部創立、福島自由新聞の創立。
こじまわうはく 小島忠八 自由民権運動の闘士。山口千代作と共に反対闘争の先頭に立つ。

学者の西会津と云われたわけ



アーティストと共に 数年かけて復活した伝統産業

いづがはらわし
出ヶ原和紙



会津藩の御用紙として使われていた歴史がある「出ヶ原（いづがはら）紙」。その名は伊豆の国から訪れた人が紙漉きを伝えた事に由来すると言われています。かつての西会津町では、豊富な清水を背景に、良質な紙が町内各地で漉かれ、近隣では「出ヶ原」の名が紙の代名詞となるほど有名な和紙産地でした。その生産は昭和中期に一度途絶えますが、アーティストの滝澤徹也氏、地元有志や西会津国際芸術村により再興の動きがおこり、出ヶ原和紙の文化を繋ぎ現代に生かすさまざまな活動が行われています。工房見学や紙漉き体験なども随時開催しています。

問い合わせ先：にしあいづ観光交流協会
TEL:0241-48-1666

江戸時代から続く、職人のてしごと

MAP 5-B のざわみんげい 野沢民芸



江戸時代から明治にかけて、全国各地でつくられた郷土玩具。会津を代表する郷土玩具「赤べこ」は、ふるくから厄除けのお守りや縁起物として、会津の人々に愛されてきました。ちなみに「べこ」とは、会津弁で「牛」のこと。そんな赤べこ生産のシェアをおよそ7割も占める工房「野沢民芸品製作企業組合」が、西会津町にあります。50年以上にわたり、会津張り子を中心に郷土玩具や民芸品をつくり続けている「野沢民芸」。ころんと愛らしいフォルムの赤べこは、贈りものや西会津のおみやげとしても人気です。

〒969-4406 西会津町野沢字上原下乙 2704-2
TEL 0241-45-3129



江戸～明治時代にタイムスリップ

MAP 5-C じまんかん ふるさと自慢館



西会津町の歴史や文化、研幾堂から輩出された偉人たちを紹介する小さな歴史資料館。「ふるさと自慢館」としてオープンしているこの場所は、江戸時代末期までは越後街道野沢宿における修験道の道場があった場所なんだとか。

〒969-4406 西会津町野沢字原町乙 2147
TEL:0241-45-3235（西会津町商工会）
営業日時：不定期営業（公式 web サイトをご確認ください）





を楽しむには、ここからスタート！

日本の田舎
西会津町
Traditional countryside in Japan
NISHI-AIZU

このページでご紹介している2つの施設では、まちの観光やイベント情報などを常時発信しています。ここで情報をゲットして、まちめぐりに出かけましょう！

旅の情報もお土産もここでゲット

MAP 5-B みち えき
道の駅にしあいづ

西会津町ってどんな場所？それをいち早く知って体験するなら「道の駅にしあいづ」へ。ここではまちの観光情報を仕入れられるほか、地元食材を使ったご当地の味を楽しめるフードコート、旬の野菜を購入できる「ミネラル野菜の家」、まちの特産品やお土産を購入できる「交流物産館よりっせ」などがあり、西会津へ来た時も、西会津から帰る時にも立ち寄りやすいスポットが一拠点にぎゅっと集約されています。ここで食べられる料理については15ページでご紹介しています。



西会津の加工品

西会津産の素材を使ったおやつや日本酒、人気の赤べこ・起き上がり小法師など、西会津と言えばのお土産品を販売。



ミネラル野菜の家

地元の野菜づくりの名人たちが手によりをかけて育てた旬野菜や、自生している山菜などがずらりと並びます。



フードコート

西会津名物の味噌ラーメンやそばをはじめ、一度は食べておきたいご当地の味が大集合。



にしあいづ観光交流協会

道の駅の施設内にあり、西会津の観光に関することなら何でも相談できます。(TEL:0241-48-1666)

MAP 5-B ロータスイン／さゆりオートパーク

日帰りも、宿泊も。西会津に来たなら、旅の締めくくり温泉はいかが？「ロータスイン」は、源泉かけ流しの温泉とサウナが楽しめる健康保養施設。お湯は、しょっぱい味がする天然ミネラル温泉。湯冷めせず、身体の芯からぽかぽかと温まります。さらにロータスインのサウナは、町外からサウナ通が集うほどの人気っぷり。サウナの温度が高く、水風呂は冷たいので「このサウナが一番とこのう」そうですよ。疲れがじわ〜と溶けていくスパ体験をどうぞ。



さゆりオートパーク

ロータスインに隣接するオートパーク。宿泊はキャンプサイトとコテージがあり、お好きなスタイルで自然を満喫できます。



ロータスイン

客室は和室＆洋室をそなえており、温泉とお食事を堪能した後ゆったりとくつろぐことができます。



フレンズワールド

ロータスイン周辺にあるレジャー施設。遊具がありお子さんも思いっきり遊ぶことができます。(4月下旬～11月上旬のみ開放)



レストラン會 wase (あいわせ)

会津弁で「行こう」という意味の「あいばせ」と「幸せ」を組み合わせたレストラン。西会津の食材を味わえるメニューが揃っています。

道の駅に来たら、これだけはゲットしたい！

人気のお土産をご紹介します。このページに掲載している商品はすべて「道の駅にしあいづ」で購入できます。このほかのお土産や特産品については、P19、P22、P23～24でご紹介しています。



きのこ屋の菌床しいたけ

手に取れば違いがわかる、大ぶりで肉厚の椎茸。菌床そのものから製造し、安全面にも配慮し認証を取得。(P22で紹介)



きのこ屋のきくらげ

全国的にも珍しい「国産きくらげ」。6月～12月上旬までは「生きくらげ」も店頭に並びます。



春の山菜

野生・栽培ともに、春は山菜づくし。特に「わらび」が人気ですが、露のとう・こごみなども並びます。



アスパラガス

太さがありながらとても瑞々しく、あまみが豊富な西会津のアスパラガス。シンプルに焼くだけでメイン食材になります。



野沢民芸の赤べこ

会津の郷土玩具を代表する「赤べこ」。その生産シェアを約7割も占める工房がなんと西会津にあります。(P12で紹介)



野沢民芸の起き上がり小法師

何度転がしても立ち上がることから、会津地方では古くから縁起物・郷土玩具として親しまれています。(P12で紹介)



大山まんじゅう・栗まんじゅう

大山祇神社参拝(P3で紹介)の定番みやげ。創業1934年、野沢地区に店舗をかまえる「清水屋製菓舗」による逸品です。



ブルーベリー

土づくりにこだわっているからこそ、酸味よりもあまみが引き立つ西会津のブルーベリー。生で食べるのがおすすめです。



麟太郎みそ

西会津産コシヒカリの新米を惜しみなく100%使って糀にし、農薬を使っていない大豆と塩のみで仕込んだ深みのある味噌。



栄川酒造飲みくらべセット

西会津で約200年、酒造りを続ける「栄川酒造」の人気商品をラインナップしたセット。(P20で紹介)



もずく

太さがあり、シャキッとした歯ごたえが楽しめる沖縄もずく。塩抜きするだけで、すぐに食べられます。



海ぶどう

ほどよい塩味とぶちぶち食感が楽しい海ぶどう。おかずの一品にも、お酒のつまみにもおすすめです。

道の駅にしあいづ
オンラインショップ



西会津町と友好・交流都市の関係にある沖縄県大宜味村と宮古島市。「道の駅にしあいづ」の沖縄コーナーにて沖縄県産の商品が購入できます！

の、一度は食べたい、何度も食べたい。

西会津ならではの風土を感じるグルメが盛りだくさん。
あなた好みの、旅の思い出の味を見つけてみてください。



元祖・西会津みそラーメン

MAP 5-B おおやま
大山ドライブイン

昭和47年から続く食堂。西会津と言えば味噌ラーメンが人気ですが、その火付け役となったお店のひとつ。たっぷり盛られた西会津産の野菜と、ツルモチっの麺をすすれば、あまみとコクが口いっぱいにひろがります。

〒969-4406 西会津町野沢字浦道添甲 34-1
TEL:0241-45-2702
営業時間：11:00～15:00 17:00～19:00
定休日：月曜



あまくてピリッと辛いスープ

MAP 5-C や
えちご家

「大山ドライブイン」の店主と兄弟関係にある古俣卯佐利（こまたうさとし）さんが手がける味噌ラーメンは、やさしいあまみの奥に、ピリッと辛さを感じる唯一無二の味わい。美味しさのヒミツは、会津産味噌をブレンドした秘伝のスープにあり！

〒969-4406 西会津町野沢字上原乙 2431-1
TEL:0241-45-3248
営業時間：11:00～14:30
定休日：木曜



道の駅で手軽に味噌ラーメン

MAP 5-B
うのすけ

西会津のソウルフード、味噌ラーメンをまちなかで手軽に味わいたいならここへ！ベーシックな味噌ラーメンや辛味噌、西会津産のミネラル野菜をたっぷり盛ったラーメンも。お連れ様と複数種類を注文して、食べくらべもおすすめです。

〒969-4406 西会津町野沢字下條乙 1969-26
道の駅にしあいづ内
TEL:0241-48-1512
営業時間：11:00～15:30
定休日：1月1日



さっぱり旨みのある会津山塩ラーメン

MAP 5-B こめ
米ジロー

大塩裏磐梯温水を煮詰めて作った「山塩」。味わいまるやかな「山塩」のみで仕上げたスープは、さっぱりとしているながらも感じられる絶妙な味わい。ラーメンの締めには、小ライスのスープに浸して食べるのがおすすめ！

〒969-4406 西会津町野沢字下條乙 1969-26
道の駅にしあいづ内
TEL:0241-48-1512
営業時間：11:00～15:30
定休日：1月1日



地野菜たっぷりけんちん蕎麦

MAP 5-B ぜん
いち膳

蕎麦や丼ものなど、ヘルシーな気分もガッツリ食べたい時にも頼れる食堂。おすすめはヘルシーなお味でほっと和む「けんちん蕎麦」。地野菜のあまみがスープに溶け出し、心もお腹もやさしく満たされます。

〒969-4406 西会津町野沢字下條乙 1969-26
道の駅にしあいづ内
TEL:0241-48-1512
営業時間：11:00～15:30
定休日：1月1日



焼きたてが嬉しいパン

MAP 5-B
アンベイク

「道の駅にしあいづ」内にあるパン屋さん。毎日焼きたてを提供しており、あれもこれも食べたい人は11時～13時頃が狙いどき。西会津産米粉を使ったパンや、西会津印のあんパンもあり、旅の小腹みたしにぴったりです。

〒969-4406 西会津町野沢字下條乙 1969-26
道の駅にしあいづ内
TEL:0241-48-1512
営業時間：9:00～18:00（なくなり次第終了）
定休日：1月1日



一度は食べてほしい馬刺し定食

MAP 5-C どうきしよくどう
同気食堂

大正10年創業、「お客様と同じ気持ちで」が店名の由来になっている大衆食堂。会津地方では昔から馬肉を食べる習慣があり、日本三大馬刺しの地でもあります。新鮮でヘルシー、肉厚な馬刺しを自家製の辛味噌タレにからめてどうぞ。

〒969-4406 西会津町野沢字原町乙 2168
TEL:0241-45-2852
営業時間：11:00～18:00
定休日：第1・第3水曜



繊細ながらコシのある十割蕎麦

MAP 5-B かのんちゃや
観音茶屋

地粉で手打ちした十割蕎麦が名物。つるつとした喉ごしと、コシのある食感。噛むごとに蕎麦の風味が引き立ち、つゆ無しでもおいしく味わえます。さくっと揚がった季節野菜の天ぷらも欠かせません。「道の駅にしあいづ」にもお店があります。

〒969-4406 西会津町野沢字如法寺乙 3595-3
TEL:0241-45-2371
営業時間：11:00～15:00
定休日：月曜 12月中旬～3月下旬まで冬季休業



里山風景が美しいブックカフェ

MAP 2 さばうなでしこ
茶房石竹花

真ヶ沢集落にある私設美術館「農とくらし（P9で紹介）」を運営する小野木麗子さんが営むブックカフェ。登山好きな麗子さんらしいネパールカレーとネパールコーヒーが味わえます。集落の田園風景や高陽山をながめながら、ほっとひと息。

〒969-4734 西会津町奥川大字飯里字里道 2264
TEL:080-6019-0384
営業時間：11:00～15:00
営業日：土・日・祝 12月～4月下旬まで冬季休業



口の中が幸せで満たされる

MAP 5-C ようしよくどうけい
洋食堂 K

肩肘はらないカジュアルな雰囲気のレストラン。ご夫婦二人三脚で営んでおり、ランチ・ディナー・テイクアウトも可能です。人気はふわとろオムライス。ふわふわの卵が口の中でとろけて、思わず笑みがこぼれるおいしさです。

〒969-4406 西会津町野沢字原町乙 2147
TEL:0241-45-2224
営業時間：11:30～13:30 17:30～20:00
定休日：火曜・木曜



山間地で本格的なにぎり寿司

MAP 5-C こうずし
幸寿司

銀座で修行した職人による本格的にぎり寿司が味わえるお店。新潟で直接仕入れるという新鮮な海の幸を、山にかこまれた立地にながら存分に楽しめます。特別な日や、ちょっと贅沢気分な時にも。心までも満たされる至福のひとときを。

〒969-4406 西会津町野沢字下條乙 1969-15
TEL:0241-45-3031
営業時間：11:30～13:30 17:00～22:00
定休日：月曜



ごほうび気なティータイム

MAP 5-D すわのもりかふえ
諏訪の森 cafe

米農家の阿部純一さんが店主をつとめるカフェで、近所にある諏方神社が名前の由来。特に西会津産そば粉を使ったガレットや、カリッじゅわっと食感のフレンチトーストが人気。お子さん連れも大歓迎、キッズフレンドリーなお店です。

〒969-4406 西会津町野沢字祝ノ前 1402-1
TEL:0241-45-3713
営業時間：10:00～17:00
定休日：火曜（福列り期間は休業）



古民家×イタリアン

MAP 5-C くらどっと
KURA.

築100年以上の古民家を改修してオープンしたイタリアンレストラン。この道40年以上のシェフによるひと手間かけた料理が、ランチタイムを鮮やかに彩ります。初めて訪れるなら、よくばりさんも満足のワンプレートランチがおすすめ。

〒969-4406 西会津町野沢字原町乙 2211-1
TEL:0241-45-2204
営業時間：11:00～14:30（L.O.14:00）
定休日：水曜



西会津の夜を楽しむならここ！

MAP 5-C わすい
はるよし和粋

老舗割烹「はるよし」の4代目・和田武士さんがはじめた居酒屋。新潟から直送される新鮮・上質な魚介類をはじめ、会津の銘酒を堪能できます。和田さんの手料理は何を食べても美味しい！飲んでしゃべって味わう時間そのものが思い出になりますよ。

〒969-4406 西会津町野沢字上原乙 2450
TEL:0241-45-3113
営業時間：17:00～23:00（L.O.22:00）
定休日：水曜



心とからだがほっとする

MAP 3 ちゃみせ
CHAMISE

月に数日だけオープンするちいさなカフェ。インドの伝統医学「アーユルヴェーダ」の考え方にもとづくスパイスカレーや、生産者さんとの繋がりを大切に、その季節の果物を使った心とからだにやさしいパフェ・おやつを味わえます。

〒969-4512 西会津町上野尻字下沖ノ原 2650-1
（暮らしの体験宿ひととき内）
営業日時：Instagramで要確認



日本の田舎、
西会津町。
Traditional countryside in Japan,
NISHI-AIZU.

の、西会津米は、あま美味しい。

炊きあがりの湯気とともに、ふわっと香り立つやわらかい土のにおい。ひと口運べば違いが分かる、歯を押し返すほどのもちり感と、噛むほどにひろがるあまみ。「西会津米」は、米農家はもちろん、町民みんなが自信を持って「西会津は米がうめえ」と自慢するほどのお米です。町内の飲食店や宿で味わえるほか、「道の駅にしあいづ」で購入でき、「ふるさと納税」の返礼品にもあります。

昼夜の寒暖差が生むクオリティ 西会津米がおいしい7つの理由

1

米をおかずに
米が食べられる

西会津米はおかずが
いらぬ主役級のうまさ

2

山がもたらす
豊かな清流

清らかな山の水がお米の
すこやかな生長を促す

3

昼夜で 15°C
以上の寒暖差

山間地域特有の環境が、
強いうまみを生み出す

4

日本を代表する
米ブランド

香り、あまみ、粘り、粒立ち、
どれをとっても一流

5

コツコツまじめな
農家さん

厳しい自然環境下でも
クオリティを保つ高い技術力

6

多様性に富んだ
自然環境

生きものにとって
棲みやすい豊かな自然環境

7

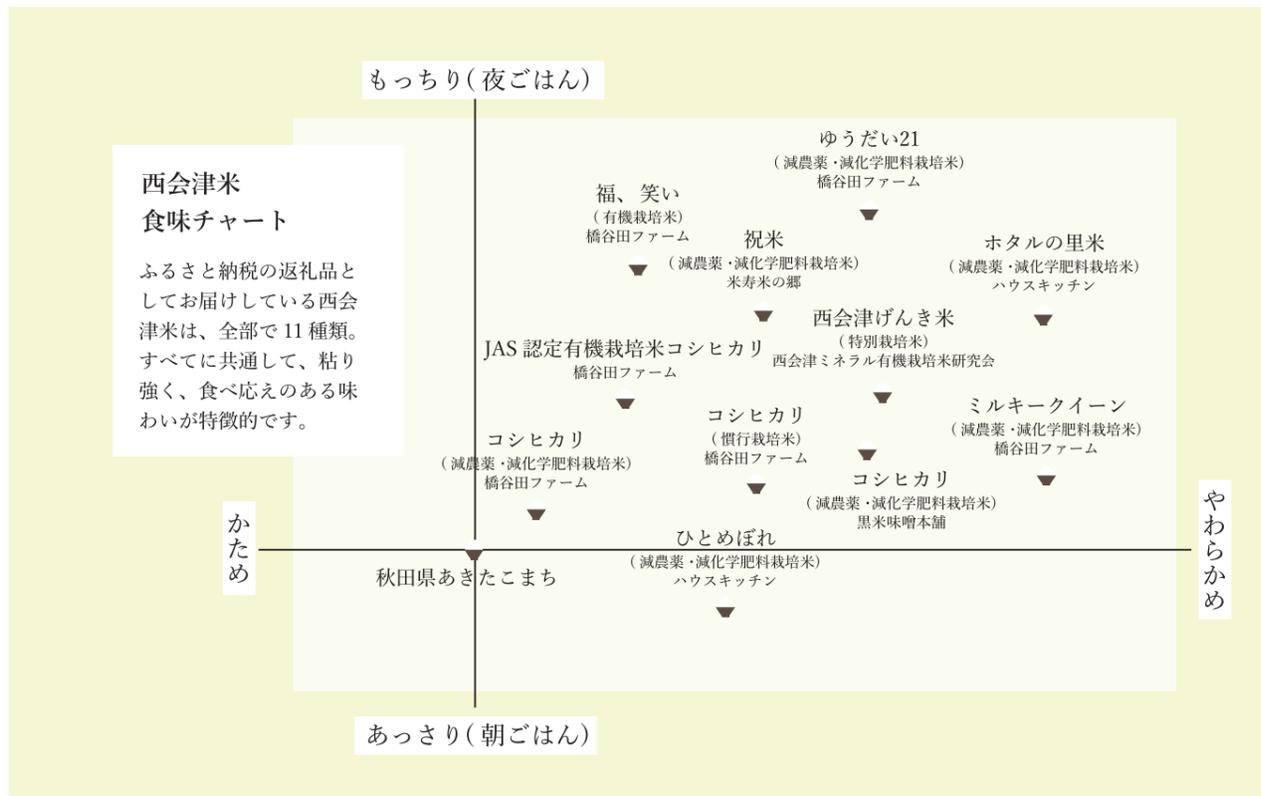
持続可能な農業

豊かな自然環境を守り継ぎ、
次の世代に手渡す



はしやだ
橋谷田ファーム株式会社
はしやだあつし
代表 橋谷田淳さん

私たちが育てているのは、自然にも身体にも負荷をかけない米。農薬を使わずに有機質肥料だけを使った「JAS 認定有機栽培米」や、農薬と化学肥料を減らした「特別栽培米」を手がけ、世界的な農業認証「グローバル GAP」を取得しています。雑草や病気への対策に苦労はありますが、薬剤に頼らず自然のシステムで育つ稲は、自分で病気にならないように免疫力をつけるので、悪天候が続いても影響を受けにくいんです。自然に委ねてみると、お米はこんなにも生命力や栄養価にあふれ、丈夫に育つ。それを私は「雑草のような稲」と呼んでいます。人間の都合ではなく、稲目線、自然目線に立った持続可能な農業を実践し、良質な土を後世に残していきたいです。



うしお
牛尾ライスセンター理事
めぐるてるお
ホタルの里米 目黒輝夫さん



くろごめほんぽ
黒米味噌本舗
すずきふみこのぶあき
鈴木二三子・信昭さん



西会津ミネラル有機栽培米研究会代表
おぼらとしみち
小原利道さん

集落の人たちと耕し、守り継ぐホタルの里米。

夏にはホタルが飛び交う、豊かな自然環境を誇る「牛尾集落」。集落の農家たちと協業で米づくりをする「集落営農」に取り組み、自然に負荷をかけない農業を心がけています。

土壌の微生物が育む「すなお」な米。

微生物のはたらきに着目し、稲の生長をサポートする土壌づくりのための資材を開発。その土地由来の微生物のはたらきを促し、稲目線に育てられた米は「すなお」な味がします。

ミネラルたっぷりの「げんき米」。

ミネラルを豊富に含んだ「げんき米スペシャル」というオリジナルの肥料を使い、土づくりからこだわった「げんき米」を栽培。まちの学校給食にも使われている米です。

集落のベテラン農家が手がける、祝米。

「山浦集落」に暮らす60代～80代の農家によって結成された団体「米寿米の郷」。それぞれの世代ごとに手がけたお米を「還暦米・喜寿米・米寿米」と名付け、総じて「祝米(いわいまい)」としてお届けしています。



米寿米の郷の皆さん

道の駅で買える

西会津米を使ったプロダクト

西会津米をそのまま味わうのも良いけれど、お土産や贈りものにもぴったりな西会津米由来の商品をご紹介します。これらの商品は「道の駅にしあいづ」で購入（一部商品を除く）できるほか「ふるさと納税」の返礼品にもあります。



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

1. JAS有機栽培米パックライス／農業を使わずに、有機質肥料だけを用いて育てた橋谷田ファームのコシヒカリを手軽に味わえるパックライス。2. 西会津味噌ラーメン／西会津米の米粉を練り込んだモチモチ食感のちぢれ麺に、濃く深い味噌スープがからむ絶品ラーメン。3. 米粉入り餃子／西会津産米粉を使った特注皮で包み込んだ生タイプの本格餃子。焼き面はパリッと、外側はツルツとしたもちもち食感が楽しめます。4. 米粉入り唐揚げ／居酒屋はよし和粋(P16で紹介)の店主が監修した鶏の唐揚げ。西会津産米粉を使った衣は、カリッとした食感。5. 西会津アイス／西会津米仕立ての甘酒と、米飴のやさしい甘さが、オーツミルクに溶け合う濃厚な味わい。乳製品・卵不使用。6. 米寿米の郷 祝米／60代、70代、80代のベテラン米農家による匠の逸品。鮮やかなパッケージはギフトにもぴったり。7. 西会津おかし／西会津産のもち米「こがねもち」を使ったおかし。軽いザクザク食感がやみつきになるおいしさ。8. 米ぬかせっけん／西会津米の米ぬかと、会津産の高級クロモジオイルを使ったナチュラルソープ。化学保存料・防腐剤不使用。9. 油味噌／米麹味噌に油と砂糖を混ぜて、甘辛く仕上げた田舎の味。炊き立てごはんによく合います。10. 麟太郎みそ／西会津産 コシヒカリの新米を惜しみなく100%使って糴にし、農薬を使っていない大豆と塩のみで仕込んだ味噌。雑味がなく深みのある味わい。

MAP 5-C

江戸時代から 200年続く、酒造り。

旧越後街道野澤宿の通り沿いに、酒蔵と店舗をかまえる「栄川酒造」。文化4年(1807年)、会津藩から酒簿(酒造免許)を得て、16代目にわたってこの土地でお酒を造り続けています。お酒は、水が命。飯豊山系のゆたかな雪どけ水を使って醸されるお酒は、まろやかで心地よい余韻が後を引く味わい。ひと口ふくんだ瞬間、日本の田舎の風景が思い浮かぶような、西会津の地酒をお楽しみください。

〒969-4406 西会津町野沢字本町甲 1184
TEL:0241-45-2013



タイトル：飯豊の氣息
作：AYANA MIZUNO 美術家

純米大吟醸「嶺」

西会津町の象徴的な風景のひとつ、飯豊連峰。雪化粧をまとい、天高く悠々とそびえ立つ姿は、人々の心を清らかに癒してくれます。そんな飯豊連峰をモチーフにした「日本の田舎、西会津町。」オリジナル日本酒が誕生しました。酒米は西会津の米農家「橋谷田ファーム」の福乃香を使用し、ふくよかな香りが飲む人をやさしく包みます。あと味は、すっきり淡麗。雪国らしい、清涼なキレ味を感じていただけます。ひと口含めば、あなたのところに日本の田舎の風が吹く。美術家による絵がラベルにほどこされ、贈りものにもおすすめです。

「純米大吟醸」

福島県で誕生した新しい酒米「福乃香(ふのか)」を使用。西会津の米農家「橋谷田ファーム」からお米を直接仕入れています。ふくよかな旨み、コクがあるのに、あと味すっきりでバランスの取れた味わい。栄川デビューにおすすめの名酒です。



「石田治部少輔三成」大吟醸酒

杜氏が戦国武将石田三成の一族の末裔であることから名付けられたお酒。西会津産の山田錦で仕込み、深みのあるコクとキレが際立つ味わいです。全国清酒鑑評会2016年に金賞を受賞。歴史好きな方にご堪能いただきたい1本です。



飲みくらべセット

栄川酒造の人気商品を3種をラインナップしたセット。深いコクとキレが際立つ「大吟醸」、栄川酒造の中ではベーシックな本醸造タイプの「はしご酒」、水のようにかるい飲みごちの「水の音」を楽しめます。

西会津の米農家さんを応援！ 石高プロジェクト

「お米を買う」という以外に、持続的に農家さんを支える仕組みがつかないだろうか？そんな背景から誕生した「石高プロジェクト」は、参加者に多様な方法で米づくりに「貢献」してもらいながら、買い手とつくり手の新しい関係性をつくらうという実験的な取り組みです。特に、その仕組みにブロックチェーン技術を活用していることが画期的な特徴です。

貢献活動の例としては、実際に西会津の田んぼに来て米づくりを手伝ったり、SNSで西会津のお米の魅力を発信したり。そうした活動が『石高アプリ』上で貢献トークンとして記録され、最終的にはその人の貢献度合いに合わせて「お米」が返されます。つまりは、あなたが米づくりに貢献すればするほどステータスが上がり、「お金持ち」ならぬ「お米持ち」に！めざせ、百万石の大名！気になった方はぜひ、「石高アプリ」をダウンロードしてみてくださいね。

「石高プロジェクト」公式 web
kokudaka.jp



▼アプリダウンロードはこちらから



福島県唯一の酒づくりの神様 松尾神社

平安時代(前期 811年)、今も田園風景がひろがる西会津町内の「松尾集落」内に建立され、福島県では唯一「松尾神社」の名を掲げる神社。京都にある松尾大社の御分霊を祀る神社だとされています。享保年間(1716年)の頃より「醸造神」として現在の福島県や新潟県にある醸造元から篤く信仰されてきました。古くから、酒づくりは新米がとれる11月の「初卯の日」にはじめ、4月の「中西の日」に完了する慣わしがあり、それぞれにお祭りを行なっています。11月の卯の日に行う「上卯祭(じょううさい)」では、会津地方を中心に県内の醸造元が参列し、お水取り神事を行なっています。宮司さんが境内にある「ご神井」から水を汲み、参列者はその御神水を種水として持ち帰り、神棚に祀ります。こうした歴史・背景からも、西会津は酒づくりについて結びつきのある地域なのです。





日本の田舎
西会津町
Traditional countryside in Japan,
NISHI-AIZU.

の、大地の恵み。

西会津の野菜や果物は、贈りものにとっても喜ばれる！その理由は、どの野菜・果物も香りがよく、みずみずしくて、素材本来の味がしっかりと感じられるから。実は土づくりに、そのおいしさのヒミツがあるんです。

西会津が推す

「ミネラル野菜」

「健康な身体は健康な食べ物から、健康な食べ物は健康な土づくりから」。その理念のもと、西会津町では平成10年から健康な土づくり事業に取り組んでいます。身体を動かすために欠かせない栄養素「ミネラル」に着目し、マンガン・鉄・銅・亜鉛・ホウ素のミネラル成分5要素を含み、19項目の土壌診断に基づいて施肥設計を行ったバランスの取れた土壌を整備。こうして育てられた野菜を「ミネラル野菜」と呼び、「にしあいづ健康ミネラル野菜普及会」の契約農家さんが、季節の野菜を栽培しています。



春



山菜

西会津の春は山菜シーズン。野生・栽培ともに多種多様な山菜が登場します。特にわらびがお土産として人気です。



坂井農園のミニトマト「清流ノ暁」

山深い「奥川地区」で唯一の若手農家が手がけるミニトマト。清らかな山の水で栽培し、濃厚な味わいながらもあと味はスッキリ。



チャルジョウ西会津農場のオーガニックメロン

「有機 JAS 認証」を取得している農場で育てられたメロン。「無灌水栽培」により、みずみずしく濃厚で後味は爽やか。



チャルジョウ西会津農場の有機野菜

薬剤や化学肥料に頼らない有機栽培を実践している「チャルジョウ西会津農場」。ミニトマトや人参などのお馴染みの野菜をはじめ、珍しい野菜の栽培も！



きのご屋のきくらげ

会津管内で乾燥きくらげの生産量 No.1 を誇る「きのご屋」。全国的にもめずらしい国産きくらげの栽培を10年以上前から行っています。

西会津のこれからを担う、若手農家



さかいこうじ 坂井農園代表・坂井康司さん

20代半ばから実家の農業を手伝いはじめ、3年目に経営を担うようになりました。今は「坂井農園」という名前で、きゅうり・ミニトマト・コシヒカリを栽培しています。親から経営を継いだ後は、自分の農業のスタイルを確立しようと、学びの連続でした。今も試行錯誤しているところですが、地元の農家さんや農協へ行ってノウハウを教してもらったり、不耕起栽培に挑戦してみたり。はじめは、納得いく野菜をつくれずに悔しい思いをしたのですが、7年ほど経って、ようやくこれが自分の農業だと胸を張って活動できるようになってきました。農業って、すごくおもしろいですよ。奥川地区の農家の中では、「坂井農園」が最も大々的に農業を営む事業者です。地域の方からの期待に、正直プレッシャーを感じる時もありますが、つぶれちゃいけないですね。今は、より多くの人に「坂井農園」の野菜を手にとってもらえるよう、商品化にも力を入れているところ。「おいしい」をきっかけに、西会津や奥川の里山保全、農業に興味を持ってもらえたら嬉しいなと、想いを膨らませています。



土を変えると、味が変わる。ミネラル野菜づくりの達人。



ものえよしえい にしあいづ健康ミネラル野菜普及会 会長・物江義栄さん

私が農業を営んでいるのは「下小島（しもおじま）」という地区。西会津のまちなか「野沢」から車で5分のところにあり、かつては「野沢の台所」なんて言われていた場所です。ここは昔から、野菜づくりが上手なおかあさん方が多くてね。ここで採れた野菜を野沢の飲食店で使ってもらっていたりしたんです。私も実家の家業が農業ですから、稲作や畑作は生活の一部。町の取り組みで「ミネラル野菜」づくりがスタートして、ミネラル野菜を初めて食べた時は衝撃的でした。野菜の味が濃いです。私もミネラル野菜を栽培するようになり、現在は普及会の会長を務めています。現在は60名もの会員さんが西会津の各エリアでミネラル野菜をつくっていて、野菜の種類や出荷時期は人それぞれ。その人が手がける畑の土壌分析を行い、つくる野菜に適した肥料を与えて、土づくりからこだわっています。そうやってできた野菜は、主に「道の駅にしあいづ」に出荷しています。例えば、ほうれん草は特有の渋味がなく、鮮度が長持ちするのが特徴。ぜひ、「ミネラル野菜」の美味しさを皆さんにも味わっていただきたいです。

秋



杉原農園のぶどう

福島県生まれのオリジナル品種「あずましずく」と「シャインマスカット」を栽培。種がないため、年齢問わず喜ばれます。

冬



冬野菜

大根、白菜、白ねぎなど。西会津の野菜づくり名人たちの冬野菜はどれも立派！大ぶりであまみが濃く、鍋料理にもよく合います。



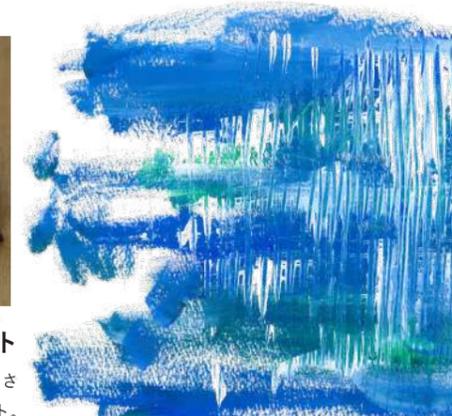
齋藤俊二さんのみしらず柿

「みしらず柿」は、福島県会津で栽培されている渋柿。出荷前に渋抜きを行い、食べごろをお届けします。会津を代表する果物のひとつで、皇室への献上柿として知られています。



べっぴんしゃんの絶品乾燥しいたけセット

西会津に移住し、きのご屋家として新規就農した三留良司さんが手がける「乾燥しいたけ」と「乾燥きくらげ」のセット。全国品評会で金賞を受賞。





を、おうちでも。

このまちの自然と、ここに暮らす人の結びつきから生まれた、西会津らしさを感じられる味と品。毎日の定番にも、ちょっとしたご褒美にも。これらの商品は、「道の駅にしあいづ」で購入（一部商品を除く）できるほか「ふるさと納税」の返礼品にもあります。



馬刺し

サラブレッドのような体型の「軽種馬」の肉を使っているため、脂が少なく、ヘルシーながらも濃い旨みが味わえます。特製辛味噌タレをかかめてどうぞ。



ドライトマト・ほおづきジャム

30年以上、有機農業を実践する農家が手がけたミニトマトと、日本では珍しい大玉の有機ほおづきを加工。素材本来のやさしいあまみとコクを楽しんで。



寒晒そば

大寒の時期に、大山祇神社御本社を水源とする中野川に蕎麦の実を浸し、暎拝殿の軒下につるして寒風に晒し、大山祇神社に奉納・祈祷したありがたいお蕎麦です。



野山のピクルスセット

春になると西会津のいたる場所で摘みとれる「ふきのとう」と、西会津産の玉ねぎをピクルスにしました。保存料・着色料無添加で、安心・安全のおいしさ。



なめこ缶

大粒でぷりぷり食感がクセになる西会津の「なめこ」。この地の清らかな水が、ワンランク上のおいしさの秘訣。



大山まんじゅう

大山祇神社参拝（P3で紹介）の定番みやげ。地元にある「清水屋製菓舗」が製造し、素朴ながらも飽きのこない味わいで茶菓子にぴったり。



くず湯

400年以上の歴史を誇る老舗「御菓子司上野」が手がけるくず湯。大山祇神社のご神饌（しんせん）にも使われています。国産本くずを使い、やさしい甘さにほっとします。



烏骨鶏の卵

平飼いで育てられた烏骨鶏の卵は、鶏卵よりこぶりながらも、つめるほど卵黄が濃厚で上品なあまみ。



革小物やかばん

町の鳥獣害対策により捕獲されたイノシシやシカの皮を使った小物・かばん。ファッションのアクセントになります。（P10で紹介）



えごま油

西会津の上野尻地区で栽培された「えごま」を搾ってつくられた「えごま油」。クセのないさらりとしたオイルで、口馴染みも良好です。



漬物ざんまい

西会津生まれの素材でつくられた無添加の漬物。薬味として、いつもの食卓の味をアレンジするのもおすすめ。



乾燥ぜんまい

冬は2～3mほどの積雪がある山間地域で育った良質な「ぜんまい」だけを摘みとり商品化。春の味わいを、いつの季節も食卓で楽しめます。



味噌とコシヒカリセット

鈴木二三子さんが手がける西会津米コシヒカリと米麹味噌。やさしく包み込まれるような、西会津の母の味。



赤べこ

会津を代表する郷土玩具。厄除けのお守りや縁起物として、大切な人への贈り物や西会津みやげにも人気です。（P12で紹介）



会津ラーメン味巡り

ラーメン通におすすめ！「西会津味噌ラーメン・喜多方醤油ラーメン・北塩原会津山塩ラーメン」の3種類を味わえるセット。



豚バラチャーシュー

地元民の和み処である居酒屋「はるよし和粋」の若大将が、自ら仕込んだ豚バラチャーシュー。噛むほどに肉汁と旨みがじゅわっとあふれ出します。



牛バラカルビ

会津のブランド牛「奥会津牛」の中でも、特に濃厚なおいしさを味わえる「牛バラカルビ」。お肉のあまみが引き立ち、クセのない味わいが人気です。



焼き車麩

丸十製菓本舗にて、一つ一つ丁寧に炭火で焼き上げているドーナツ形の焼き麩。煮物や汁物、豚カツのように揚げてもおいしいですよ。

特産 Speciality



日本の田舎
西会津町
Traditional Countryside in Japan,
NISHI-AIZU.

の、風物詩。

西会津町では、伝統的な神事やクラシックカーイベント、美術展など、年間を通して多彩なジャンルのイベントが開催されています。参加型イベントもたくさんあるので、ぜひ遊びにきてみてください。

2月 雪国まつり

寒さと雪が一番厳しい真冬に開催される恒例のおまつり。雪に親しみ、雪と遊ぶ！雪国だからこそ実現できるイベントです。みどころは「歳の神（さいのかみ）」。しめ飾りや神棚のお供物をお焚き上げて歳神様を天にお送りし、一年の五穀豊穡や無病息災を願う会津地方の伝統行事です。見上げるほど高くごうごうと燃え盛る様子は迫力満点！この火にあたると、病気にならないと言われています。また、この火で餅やスルメを焼いたものを家に持ち帰り、家族でわけて食べると、その年は家内安全、無病息災で過ごすことができると伝えられています。

MAP 5-C **さゆり公園**

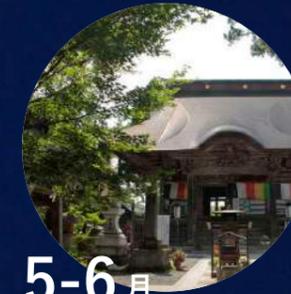
周りを山に囲まれ、素晴らしいロケーションに恵まれた自然豊かな総合スポーツランドです。広い敷地をふんだんに使った公園は、野球場や体育館など屋内外の競技、四季を通じて利用できるスポーツ施設が揃っています。

〒969-4401 西会津町登世島宇西林乙 2529-10
TEL：0241-45-4317



5月
**西会津なつかし
car ショー**

全国各地からクラシックカーやスーパーカー、バイクが大集合！フードトラックの出店なども。



5-6月
鳥追観音若葉祭

新緑が輝く季節、特別御開帳される秘仏「本尊鳥追観音像」を自由に拝観できます。



6月
大山まつり

家内安全と五穀豊穡を祈願。休日には野点や御神楽奉納が行われます。



6月
安座おとめゆりまつり

おとめゆりの開花シーズンに合わせて、地元民によるグルメの販売などが行われます。



8月
にしあいづ夏祭り

野沢地区で開催される盆踊り。民謡「会津磐梯山」にあわせて参加者が輪になって踊ります。



9月
にぎわいまつり

旧越後街道の宿場町として栄えた野澤宿に、70台ものワーゲンが大集合！



9月
出戸岩屋まつり

岩屋虚空蔵尊で毎年9月13日に実施。500年以上守り継がれている伝統文化。



9月
野沢祭礼

五穀豊穡と商売繁盛を祈願。山車や神輿が野沢地区を練り歩き、おまつりムードは最高潮！



10月
西会津国際芸術村公募展

一般公募による絵画作品を展示し、毎年150点ほどの作品が全国から集まります。



10or11月
西会津ふるさとまつり

恒例の「桐ゲタ投げ全国大会」やグルメ、特産品の販売など内容盛りだくさん。



11月
そばまつり

西会津の各地区で新そばを味わうイベントが開催されます。



11月
鳥追観音紅葉祭

真っ赤に色づく紅葉を楽しみながら、特別御開帳される秘仏を自由に拝観できます。



1月
野沢初市

一年の商売繁盛を祈願する鏡開きや、縁起物・あたたかい食べ物の販売などもあります。

行事
Event



の、風土に泊まる。

日帰り旅もいけれど、西会津の真髄にふれるなら、ぜひ町内の宿に滞在してみてください。個性ゆたかなオーナーが、その地域・その家ならではのおもてなしで迎えます。



これぞ、日本の田舎。

MAP 2 古民家ホテル **NIPPONIA 檜山集落**

築120年以上の蔵と納屋をリノベーションした、集落に“暮らせるように泊まれる”宿。眼下に広がる山並みや雲海、満点の星空、水のせせらぎに包まれ、生態系の一部であるという感覚を取り戻せます。

〒969-4737
西会津町奥川大字高陽根字百目貫 5900
TEL:080-9074-8301



まちなかにある古民家ホテル

MAP 5-C 古民家ホテル **ふくの屋 / ふくの蔵**

築100年超の古民家と蔵をリノベーションした宿。西会津のまちなかにあり、野沢駅や高速道路の西会津ICからもアクセスよく、旅の拠点にぴったりです。1日1組限定で、人目を気にすることなくゆったりと過ごせます。

〒969-4406
西会津町野沢字原町乙 2213
TEL:050-1731-2863



自分の家のようにくつろいで

MAP 3 ゲストハウス **暮らしの体験宿ひととき**

上野尻地区の桐下駄屋をリノベーションして生まれた小さな宿。オーナーの佐々木さん夫婦の人柄・暮らし方に惹かれて全国各地からゲストが集まります。季節ごとの農作業や、町の人がガイドになる自然あそびなどの体験も。薪のサウナも宿泊者限定で体験可。

〒969-4512
西会津町上野尻字下沖ノ原 2650-1
TEL:090-7335-0230



きさくな家主とおしゃべりを楽しむ

MAP 2 農家民宿 **のぼら**

奥川地区のキーパーソン、岩橋義平さんが営む宿。昔ながらの曲がり屋で、かつては馬や羊を飼っていたんだとか。フレンドリーな方なので、地域の歴史や文化についてたずねてみれば、いろいろと教えてくれますよ。

〒969-4734
西会津町奥川大字飯里字上ノ原 90
TEL:0241-49-2974



多趣味なオーナーの里山暮らし

MAP 2 農家民宿 **かたくり**

「農とくらし」「茶房石竹花」を運営する小野木麗子さんが営む宿。滞在する際は、ぜひ周辺の施設もあわせて訪ねてみて。書道や山登り、読書など、多趣味な麗子さんの里山暮らしが感じられます。

〒969-4734
西会津町奥川大字飯里字里道 2246
TEL:080-6019-0384



飯豊連峰の絶景をひとりじめ

MAP 1-D 農家民宿 **飯豊の宿 幕ノ内**

これぞ、山奥にぼつんと一軒家。町内でも標高が高く、天気の良い日には飯豊連峰が眺望できる絶景の宿。家主の五十嵐茂子さんとはとても料理上手で、庭でとれた野菜など、旬の素材を使った家庭料理を楽しめます。

〒969-4733
西会津町奥川大字大綱木字幕ノ内 2618
TEL:090-9243-3307

宿泊に関する問い合わせ先
にしあいづ観光交流協会
TEL:0241-48-1666
MAIL:nishiaizu.kanko@gmail.com



昔ながらの農村集落の暮らし

MAP 2 農家民宿 **グリーン奥川**

西会津出身の鈴木満子さんが切り盛りする宿。町内でも特に山深い集落にあり、昔ながらの古民家で農村の暮らしを体験できます。おばあちゃんお手製の料理は、ほっと和むやさしい味。

〒969-4737
西会津町奥川大字高陽根字西側前 3001
TEL:0241-49-2188



ご神域で心をしずめる

MAP 1-B 簡易宿所 **岩根館 いわねかん**

大山祇神社の御本社へむかう参道（山道）を登ること約1時間半。御本社の目の前に、この宿が現れます。山の中にぼつんと佇み、聞こえてくるのは生きものたちの声のみ。滞在していると、山の神様のパワーをもらえそう。

〒969-4406
西会津町野沢字大久保大山祇神社御本社前
TEL:090-4049-4448



源泉かけ流しの温泉とサウナ

MAP 5-B 温泉健康保養センター **ロータスイ**

西会津で唯一、温泉を楽しめる施設。塩っぱい味がする天然ミネラル温泉と、「ここが一番とどのう！」と話すリピーター客も多い人気のサウナが楽しめます。お米やミネラル野菜など、西会津の食材をふんだんに使った食事もおもてなし。

〒969-4401
西会津町登世島字下小島 187
TEL:0241-45-2900



旅の思い出にステンドグラス体験

MAP 5-C 農家民宿 **さゆり**

ステンドグラス作家でもある岩原ミツ子さんの自宅を宿としてひらいており、部屋のあちこちに作品が飾られています。希望する人には、ステンドグラスの制作体験も受け付けているそうです（事前要相談）。宿泊や旅の思い出につくってみては？

〒969-4401
西会津町登世島字さゆりが丘乙 1230-61
TEL:090-4886-5523



手づくりの野菜と料理が自慢

MAP 5-C 農家民宿 **四季庵 しきあん**

宿主は、「ミネラル野菜」（P21で紹介）を栽培している物江義栄さん。調理師免許を持っており、畑で採れた旬の野菜を使った料理が自慢です。とても気さくな方で、野菜づくりや町のことなど、話がはずみそう。飼猫の「とら」ものんびり出迎えます。

〒969-4401
西会津町登世島字端村中乙 1016
TEL:0241-45-3497



山菜料理をめあてに訪ねる人も

MAP 2 農家民宿 **泉 いずみ**

柘植悦子さんによる心くばりのおもてなしが嬉しい宿。特に山菜料理が絶品で、これを食べに訪れるお客さんもいるんだとか。目の前には田畑がひろがり、都会の喧騒から離れたのんびりと過ごせます

〒969-4736
西会津町奥川大字元島字居平 1
TEL:090-3470-4123



あそび心たっぷりの家主と農業体験

MAP 2 農家民宿 **元んち**

奥川沿いの土地で畑をやりながら、民宿を営む片岡元次さんが皆さんを出迎えます。「奥川版イーハトーヴ」と看板が掲げられたこの家や土地は、元次さんにとってまさに理想郷のような場所。一緒に畑作業をしたり、散歩するのも楽しそう。

〒969-4736
西会津町奥川大字元島字居平 39
TEL:0241-49-2515

MAP 1 西会津広域



MAP 2 奥川周辺



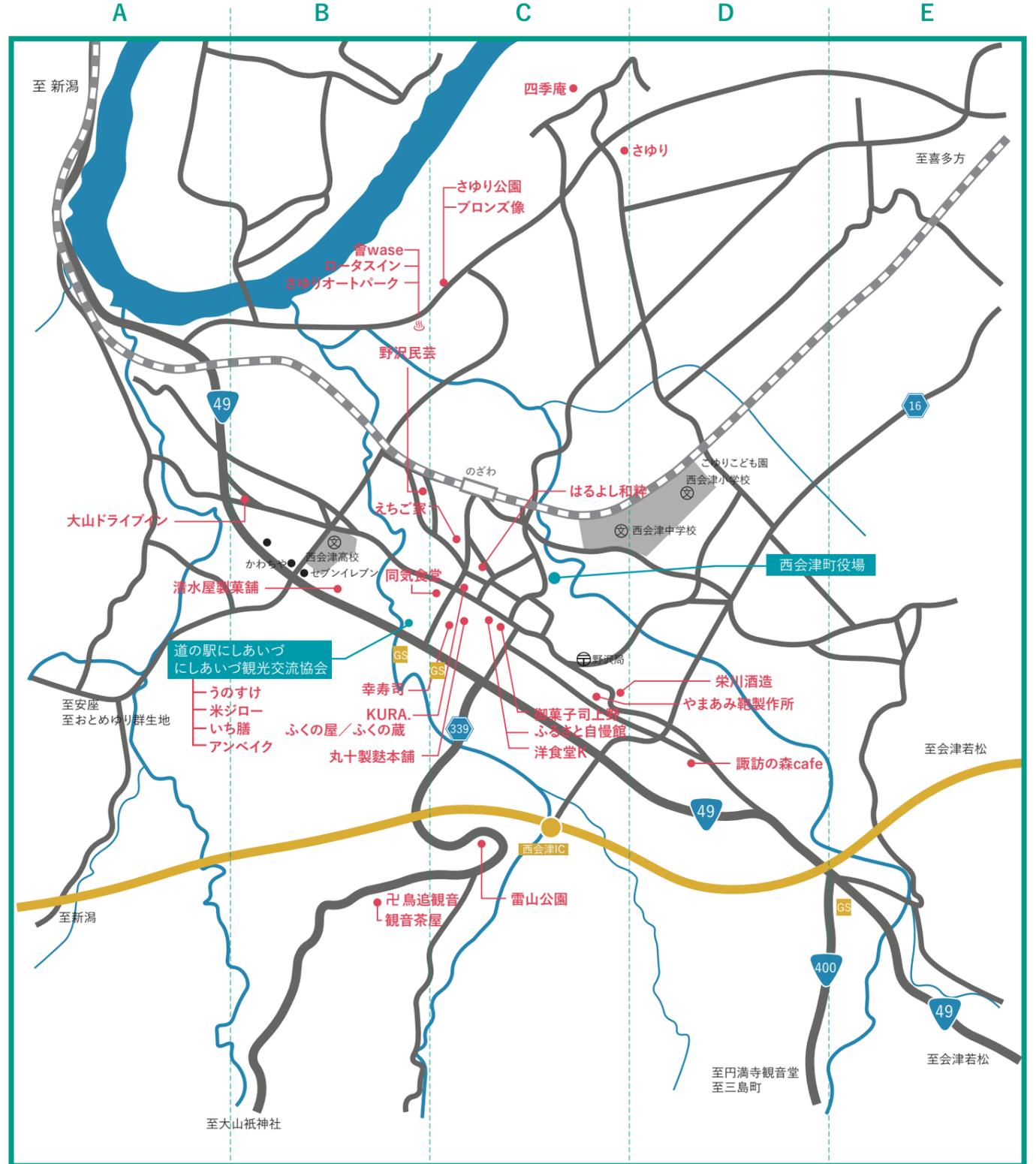
MAP 3 上野尻周辺



MAP 4 大久保周辺



MAP 5 野沢周辺



町内の移動について

- ・定時路線バス
極入徳沢線・高目線・黒沢線で定時定路線バスが運行されています。(料金/200円)
- ・まちなか循環線バス
野沢町内を中心に循環バスが運行されています。(料金/100円)
- ・デマンドバス
予約により運行するバスで、町内全域を運行エリアとしています。(料金/町外の方300円)
予約センター/0241-48-1300 (受付時間 8:00 ~ 17:00)

NISHI-AIZU GUIDE BOOK
にしあいづガイドブック
発行：西会津町
〒969-4495
福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙 3308
令和6年度
福島特定原子力施設地域振興交付金事業